様式第５号

令和６年度　学校関係者評価実施報告書（まとめ用）

学校番号	７１	学 校 名	浜松西高等学校中等部	記 載 者	高橋　智

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ア	**知的好奇心・探究心を大切にし、幅広い知識・思考力・表現力等、未来に生きる確かな学力を育成する。**	**○「授業の内容がよく分かっている」「授業は学力を伸ばすことに十分役立っている」各 90%以上**	A	A	○どの教科においても学習する目的意識をもてるような工夫が見えてよい。 ＊家庭学習時間について ●定義を確認し、学習塾等の時間を含めてもよいのではないか。 ●一定の時間が必要な理由やねらいを生徒に理解してもらうことも重要。
		○「興味や関心を喚起される授業が行われている」90%以上	A		
		○「予習→授業→復習の学習サイクルが確立できている」数英各 70%以上	A		
		○「家庭学習時間が 120 分以上」70%以上「60 分未満」0%	C		
		○年間 10 冊以上読む生徒の割合　90%以上	B		
イ	**地域社会・国際社会のリーダーとして必要なコミュニケーション能力・高い倫理観等の資質・能力を育成する。**	**○「自分の意見を相手にはっきり伝えることができる」80%以上**	A	A	○指導者が授業を工夫し、生徒同士が交流して自他の考えを述べあう場を意図的に取り入れているので、互いを尊重し合う姿勢が育ってきている。
		○「相手の意見をしっかり受け止めることができる」80%以上	A		
		○「自分から進んで行動できる」80%以上	A		
		○「学校生活に満足している」80%以上	A		
ウ	生命に対する畏敬の念や異なる人々を受け入れる優しさを育てるとともに、防災や安全に関する意識を高める。	○「相手の立場や意見を尊重している」90%以上	A	A	○教師集団のいじめに関する研修の成果が発揮されている。 ●いじめは絶対ダメというメッセージを学校全体として継続的に発信していく事が大事。 ●一人一人の生徒に向き合い、信頼関係を深めるよう努めていってもらいたい。
		○「自他の生命の大切さについて、主体的に考えている」80%以上	A		
		○思春期セミナー、薬学講座、ＡＳＥを各１回実施する。	A		
		○いじめに関する研修を２回以上実施する。	A		
		○いじめアンケートを３回以上実施する。	A		

様式第５号

		○月１回以上生徒指導報告会を実施する。	B		
		○エピペン講習会・救急法を実施する。	A		
		○防災マニュアルポケット版の携帯率 100％	A		
		○「地震等の災害時の対応（行動）について理解している」90％以上	B		
		○防災に関する職員研修を実施する。	A		
		○交通マナーに関する苦情０件　交通事故０件	B		
エ	**自分の幸福を追求するだけでなく、社会の発展に積極的に貢献しようとする意欲をもつ生徒を育てる。**	**○「学校行事以外でボランティア活動をした」70%以上**	C	A	＊ボランティアについて ●挨拶や地域のイベントに積極的に参加する事も将来のボランティア活動につながるのではないか。 ●単発や短時間のもの、地域の企業や施設に働きかけて、場所の情報提供をするとよい。 ●設定目標自体を変えても良いのではないか。
		○「困っている人がいれば手助けをすることができる」90%以上	A		
		○「総学が問題解決能力を高め、進路探究に役立っている」80%以上	A		
		○「校則等の決まりを守って生活している」90%以上	A		
		○「規則正しい生活をしている」90%以上	B		
オ	目標の実現に粘り強く取り組むたくましい心と体を育成するとともに、生徒の主体的な取組を通して自主・自律の精神を育み、生徒が主役の明るく規律ある学校づくりを進める。	○「目標を達成するまでねばり強く取り組むことができる」80%以上	B	A	○主体的な姿勢の見られる生徒がとても多いと感じた。 ●中高一貫教育の利点を生かした学力底上げ策を検討していってほしい。
		○「学習でわからないことは調べたり聞いたりして解決している」80%以上	A		
		○「校内美化（清掃等）に前向きに取り組んでいる」90％以上	A		
カ	系統的･組織的な進路指導を通して、一人一人の夢と志を可能とする進路を実現する。	○講演会等年２回以上の実施	A	B	＊県学力調査について ●目標の設定が高い。 ●個別の学習の実態を把握し、どの生徒にも丁寧に学習の仕方を指導してほしい。 ●６年間かけてじっくりと自分の将来への夢や希望を考え、その実現のための
		○県学力診断調査で８割以上の得点が取れる生徒80％以上	C		
		○「進路に関する情報や指導を十分受けている」70％以上	A		
		○「３年間または６年間を通した進路指導計画について知っている」70%以上	B		

様式第５号

		○大学教員などの外部の方から話を聞くことで進路意識が高まっている。70%以上	C		ステップとして近い未来の目標を持たせたい。
キ	生徒を鍛え、生徒の自己実現を支援することができる、高い指導力をもつプロの教師集団を目指す。また、組織を支える教職員一人一人のワークライフ・バランスの保持・向上に努める。	○公開授業と年２回以上の授業見学 100%。	A	A	●教材研究の段階から同じ教科内での共有化をすることで効率的も進むと思う。 ●教師の多忙な日常と健康維持が懸念される。 ●質の良い教育と指導を行える環境づくりをし、ＤＸ化も念頭に置いた勤務時間の短縮を目指してほしい。
		○授業リサーチ実施。	A		
		○計画的・意図的な研修会の実施、外部の研修会に積極的に参加する。	A		
		○ＩＣＴを活用した授業の実践および共有が促進される。	A		
		○教科主任者会で情報共有や意見交換が行われる。	A		
		○「学校に信頼することができる教師がいる」80%以上	A		
		○管理職からの声掛け 100% ○月 80 時間以上の時間外勤務従事者　５%以下 ○月１回以上の定時退庁	C		
ク	「魅力ある学校づくり」を進め、中高一貫の特色を生かした信頼される教育体制の充実に努める。	○「シラバスから授業の年間計画が分かる」80%以上	B	A	○中高教員の乗入れは、本校の強みであり、生徒にとっても先生方にとってもよい効果があると思う。 ●指導計画等の低学年への周知を根気よく継続してほしい。
		○初期指導でシラバスを活用し年１回見直を行う。	A		
		○中高教員の乗入れ８人以上	A		
		○生徒支援委員会年６回以上	A		
		○「３年間または６年間を通した進路指導計画について知っている」80%以上	B		
ケ	コンプライアンスを遵守するとともに、情報の発信を積極的に行い、生徒・保護者・地域の人々から信頼される学校経営に努める。	○「学校の教育活動に信頼感を抱いている」 保護者 90%以上	B	A	●コンプライアンス遵守は当然のことである。 ●保護者からの意見には丁寧にスピード感をもって対応してもらいたい。
		○ホームページ年間更新 100 件以上、アクセス数 50,000 件以上	B		
		○「学校説明について分かった」参加者 90%以上	A		
コ	教育目標を達成するため、各目標具現化の柱の遂行に係る適切な財務執行を図る。	○節電等経費削減の周知を徹底し、光熱水費使用量を、令和３年度を基準に削減する。	A	A	●学習の質が下がらない程度の節電を進めてほしい。
		○監査・検査等で指摘事項０件	A		

様式第５号